

2011年4月13日

医薬品開発のための統計解析

第1部 基礎 正誤表

1 統計の基礎

章節項	p, l, F	上：原文 下：訂正
1.1 (1)	p.9, F1.1.2	Excel シートの表と比べると，表側の 1,2,3 と表頭の x_{ini} , x_i が異なる． 表測を 1 等，2 等，3 等に，表頭を x^*_{ni} , x^*_i に改める．
1.1 (2)	p.10, F1.1.3	前項に同じ
1.1 (2)	p.11, F1.1.4	表側の 1,2,3 1 等，2 等，3 等
1.1 (3)	p.12, F1.1.5	前項に同じ
1.3 (2)	p.24, l.-7	また，シート「中心極限定理」の左下の D46:I48 M46:R48
1.3(3)	p.26, F1.3.5	上側確率や ... ときには符号を 下側確率から 考慮して
1.3(3)	p.26, l.-2	正規分布 のいろいろな確率 標準正規分布の
1.3(3)	p.27 脚注	入力すると，TRUE が省略されたとみなされる． FALSE

2 1組のデータの解析

章節項	p, l, F	上：原文 下：訂正
2.2(3)	p.69 脚注 18	Excel2007 では，[表示] タブから [マクロ] を選択する Excel2007 では，[表示] > [マクロ] > [マクロの表示]
2.3(3)	p.75, l.-1	表示 2.3.1(p.72) では， x の変動係数が 0.90 と大きいので， $\ln(x)$ の標準偏差 0.79 は変動係数 0.90 とはかなり異なる $0.90 \Rightarrow 0.91$, $0.79 \Rightarrow 0.82$
2.4 (2)	p.79, l.11	賭けが公正であれば，平均賞金額は 3.5 円前後と なることが期待される．2.677 円は 2.667 円
"	p.79, l.-1	2.677 円は 2.667 円

p: ページ番号, l: 行番号 (- は下から), F: 表示番号

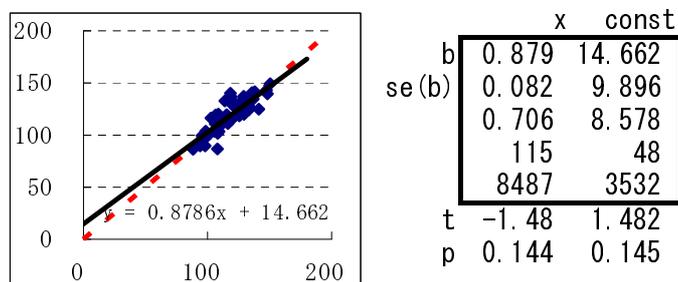
3 2組のデータの解析

章節項	p, l, F	上：原文 下：訂正
3.1(1)	p.112, 脚注	整形の過程は Excel ファイルに示されている。 §2.7 補遺 (7) 参照 (8)
3.4(3)	p.128, l.14	で求められる。 脚注を追加。 式 (3.4.2) は Satterthwaite(サタースウエイト) の近似と呼ぶ。
3.6 (4)	p.140, l.-4	上から 3 番目の図が $\delta = 1.5$ $\Delta = 1.5$
3.7(4)	p.151, 脚注	次の行を追加する Excel2010 では同順位を扱う関数 RANK.AVE が追加された。
3.8 (3)	p.158, l.3	左の表で区切られた 100 以下の 100 未満の

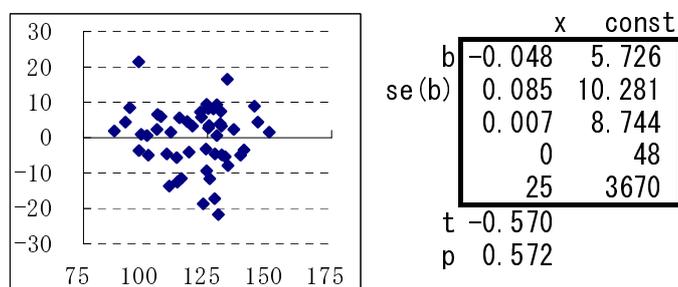
4 相関・回帰

章節項	p, l, F	上：原文 下：訂正
4.2 (1)	p.171, l.-2	表示 4.1.1(p.162) の右上に 右下に
4.3 (2)	p.190, l.5	分布の平均値を結ぶと直線になる。式 (4.3.4) は 式 (4.3.2) に
4.3 (4)	p.193, F4.3.6	「目的セル」 \$D\$40 「変化させるセル」 \$D\$38:\$D\$39 \$S\$6 \$S\$4:\$S\$5
4.3 (5)	p.195,E(4.3.8)	$R^2 = \frac{S_R}{S_e}$ $R^2 = \frac{S_R}{S_T}$
4.3 (5)	p.195, l.-3	残差平方和 S_e から ... 自由度 $2\nu_e$ で割ると, ν_e
4.3(7)	p.198, l.1	Excel では, ..., 式や r^2 を R^2 次の行の r^2 も R^2 に
4.4(1)	p.199, l.10	$y = 20.00 + 1.00x + e,$ $e \sim N(0, 15.0^2)$ ε, ε
4.4(2)	p.201, 脚注	この挿絵は実務教育研究 の通信教育 実務教育研究所の
4.5(2)	p.210, l.-1	$y = a + bx = 16.5 + 0.843x$ $14.662 + 0.879x$
4.5(2)	p.210, F4.5.3	次ページの図に入れ替える。
4.5(2)	p.211, F4.5.4	次ページの図に入れ替える。

表示 4.5.3 散布図と回帰分析 (1)



表示 4.5.4 散布図と回帰分析 (2)



5 演習解答

章節項	p, l, F	上：原文 下：訂正
5.1 (3)	p.225, l.1	K 列に T 列
5.1 (3)	p.225, l.5	2 個合計の期待値と分散は E46:E47 に N46:N47
5.1 (3)	p.225, l.6	この値を検証するために、シート「サイコロ」から 「中心極限定理」から
5.1 (3)	p.225, l.8	表題の 36 を消す。2 列目に、F8:F18 の N8:N18 の
5.2 (2)	p.230, l.5	解答は Excel シート「§ 5.2(1)」演習参照。 「演 2.2.1」参照。
5.3 (4)	p.237, F5.3.4	3 行目の右端 -3.6 -4.0
5.3 (7)	p.240, F5.3.8	この Excel 出力は間違い Excel シート「基礎 5 演習」参照
5.4 (1)	p.243, l.10	HDL と中性脂肪の散布図を描くと、表示 5.4.2 の 表示 5.4.3
5.4 (1)	p.243, l.13	両変数の自然対数を計算して、散布図を描いたのが 表示 5.4.2 の 表示 5.4.3